

一年の計は元旦にあり

校長 黒澤 一慶

本日、2学期が終了いたしました。学年によっては大きな行事が続き慌ただしさがあったかもしれませんが、充実した学校生活を送ることができたと考えています。

先日開催しました学習発表会には大勢の方々に御観覧いただき、感謝申し上げます。インフルエンザ等の罹患により参加できなかった児童・生徒がいたのはとても残念でしたが、皆様の御理解と御協力により無事開催することができました。児童・生徒の日頃の学習の成果を存分に味わっていただけたのではないのでしょうか。

日頃の学習の成果を発揮した自信や達成感の表れでしょうか、学校行事が終わると児童・生徒が一回り大きくなったように感じるものがしばしばあります。改めて学校行事を実施する重要性を認識したところ です。

今日は児童・生徒に2学期の学習の記録を持たせました。御家庭や福祉園において学習の成果を振り返っていただくとともに、新しい年のスタートに際し、新たな目標を立てる機会にさせていただきたいと考えています。「一年の計は元旦にあり」と言います。有意義な冬休みになることを願っています。

どうぞ良いお年をお迎えください。

「令和5年度 学習発表会」(12月1日～2日)

児童・生徒実行委員会のスローガンのもと、一人一人が自分の力を発揮した学習発表会となりました。

全学部が取り組んだ舞台発表や作品展示、今年度は保護者や福祉園の職員の方に人数制限をすることなく、安心して御覧いただきたいと考え、計画いたしました。観客の皆様には、惜しみない拍手をいただき、ありがとうございました。子供たちにとって、とても大きな励みになったと思います。

中学部の作業製品の販売は、即売に取り組みました。緊張した面持ちの生徒たちでしたが、中学部の保護者の皆様、いかがだったでしょうか。そして、高等部の作業製品販売では、地域の方も対象として即売も行いました。卒業生やその保護者の方、近隣の方にもお越しいただきました。新しくなった校舎に驚き、旧校舎の時代の思い出を懐かしそうにお話ししてくださった方もいらっしゃいました。

二日間の来校者の延べ人数は608人でした。「来校者確認票」の持参や、リストバンドの着用など、安全に実施するための御協力もいただき、感謝申し上げます。保護者の方や福祉園の皆様をはじめ、たくさんの方々に学校が支えられていることを、改めて感じた学習発表会でした。

(総務部 主幹教諭 大沼 眞弓)

～スローガン～
みんなが主役 元気いっぱい
みんなの心に 花をさかせよう